

# ウェルおおさか

vol.119 2019.4 隔月発行(偶数月1日)

特集

## リスタートを切るために ～生活困窮者の自立支援～

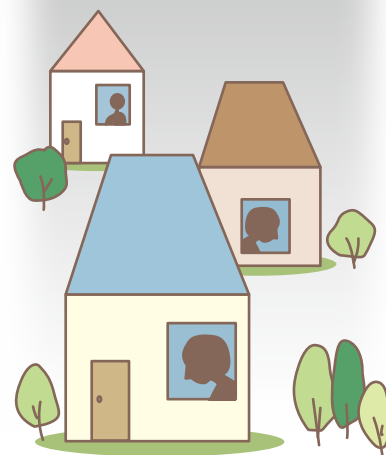
- 平成31年度 研修計画一覧
- 図書・資料閲覧室からのお知らせ
- 講座案内





# リスタートを切るために ～生活困窮者の自立支援～

雇用情勢の変化などによる経済的格差が進む中、生活困窮や引きこもりなどの困りごとはあらゆる世代に渡っています。さらに一世帯で複数の課題を抱えていたり、公的制度では対応できない「制度の狭間」に位置づけられる課題も、近年増加しています。こうした課題に包括的な対応をするために、平成27年度、「生活困窮者自立支援法」が施行されました。今回は、同法に基づいた大阪市の「生活困窮者自立支援事業」および、行政と民間の協力体制による生活困窮者への自立支援、子どもの自立支援の活動について紹介します。



## 明日、食べるものがない

格差社会が広がり、一部の富裕層と、大多数の貧困層の二極化が進んでいます。これまでは普通に生活できていた世帯も、親の介護や自身の病気など、一つの生活環境の変化がきっかけで、2次、3次の問題が発生し「明日、食べるものに困ってしまう」ほど、困窮してしまうことがないとはいえません。

加えて、家族の単位が小さくなり、扶養意識の薄くなるなか、地域とのつながりの希薄化もあり、生活困窮者を支えることができなくなっています。昔ながらのご近所づきあいでは、食べ物を提

供したり、相談を受けたり、必要ならば行政機関や相談窓口につなげるなどの手助けが日常的に行われていました。しかし、今ではそれもかなわなくなっています。

## その人なりの社会的自立を支援

生活に困りごとを抱えたまま、社会的に孤立して、課題を深刻化させる前に、大阪市では、生活困窮者自立支援法(平成27年4月施行)に基づいて、各区に相談支援窓口を設置し、対象となる人の自立までを包括的・継続的に支援しています(P.3)。具体的には、住居確保の

ための給付金や就労支援、生活困窮の連鎖防止の取組みとして子どもの学習支援事業(P.4)などがあります。

生活保護に至る前の段階で、自立支援策の強化を図ることを目的に、対象者を早期に把握し、その人の状況に応じて、他機関へつなぐとともに、地域のネットワーク、関係機関等と連携しています。対象者は必要な支援を受けながら、その人なりの社会的自立をめざします。

## 地域社会で困窮者を支えるには

生活困窮者が抱える、複合的な課題を解決に導くためには、公民を問わず地域のさまざまな力を活用した総合的な支援が必要です。私たちにもできることがあります。

まずは、身近な存在ならではの早期発見です。また、生活困窮者の話に耳を傾けたり、地域で働く場や参加する場を創出したりするのも一つの手です。「支援する側・支援される側」という関係を決めつけず、誰が困窮してもおかしくない状況下で、困ったときは、誰もが地域社会の一員として積極的な役割を果たしていくという視点を持ちたいものです。







# 「食」を通じて間接的に支援 SOSが出せない人を発見したい

## ■NPO法人ふーどばんくOSAKA

活動拠点／堺市東区八下町1-122 大阪食品流通センター内

平成24年に発足。企業や個人から、余剰食品を譲り受け、福祉施設や個人の生活困窮者らへ提供している。子ども食堂とも現在約120か所と契約。「フードバンク」活動を通じて、企業の社会的責任(CSR)の取り組みの一端を担うとともに、人権のまちづくり、社会福祉の増進を図っている。



NPO法人ふーどばんくOSAKA  
事務局長 森本 範人さん

## 急速に増加する 困窮者への個別配送

企業などから余った食品を引き取り、生活に困窮した世帯や福祉施設へ無償で提供しているNPO法人「ふーどばんくOSAKA」。昨年度は、300を超える数を支援につなぎました。

平成27年4月に生活困窮者自立支援法が施行されて以降、フードバンクでは、行政の生活困窮相談窓口を通じた生活困窮者へ緊急に行う個別配送が急速に増えています。

まず、困窮した世帯から相談を受けた相談窓口からフードバンクへ「食品提供依頼書」がFAXされ、支援の要請があ

ります。その後、電話で困窮者の状況を詳しく把握。フードバンクのボランティアスタッフは、依頼書に記された家族構成、調理の可否などを確認しながら、ケースに応じた食料を袋詰めします。調理器具がない場合は、水だけでつくれるアルファ化米、ドライ食品、煮込みハンバーグなどすぐ食べられる加工食品が送られます。個別配送は、月2回、最大3カ月間まで支援しています。

## 「食品ロス」の解消で 企業の社会貢献を助ける

提供元は、主に食品関連企業です。製造工程で発生する規格外品や賞味期限切れが近づいたものなど、商品として扱えないが品質に問題のない食品です。これらが廃棄されることにより、全国で年間600万トンを超える「食品ロス」を生み出しています。また、企業の防災用備蓄米も、賞味期限に余裕があるうちに廃棄されてしまいます。フードバンクの活動は、これらを引き取り「生活困窮世帯における食を通じての支援」と企業における「食品ロス解消」の両方にアプローチしています。

ふーどばんくOSAKAにおける年間の食品取扱量は、平成25年の発足当時は36トンですが、平成30年には121トンと3倍近く増加しています。また、企業の倒産品10～20万トンが入る際には、200トンを超えています。個人の支援も年々件

数が増え、全件数388(平成31年2月現在)の半分以上を占めています。

## 潜在的な困窮者の発見機能に

「生存権保障の根本である食が脅かされることは人権侵害です。権利を主張してもいいのに『施しを受けたくない』という方も少なくありません」と事務局長の森本範人さん。

「このようなSOSを出したくない、出せない困窮者に支援を届けるには、子ども食堂、学校PTA、社協など、地域のさまざまな団体がスクラムを組んで取り組まなければなりません。フードバンクはあくまでも、食を通じた間接的な支援者ですが、だからこそ、潜在的な困窮者の発見機能になれるかもしれないと思っています」

## 全国のネットワークを駆使して 確実に届ける

ふーどばんくOSAKAでは、活動費のほとんどを寄付金でまかなっています。

「食品ロス削減推進の議員立法の成立を目指し、超党派の国会議員により法案が、今通常国会に提出されることが検討されています。法律が施行されれば、全国に約80団体ほどあるフードバンク活動を行政が支援することになります。安定した運営のもと、本当に支援が必要な人へ、命と直結する食を確実に届けていきたいと思っています」

### 食品支援までの流れ

- 1 生活困窮者自立支援相談窓口にて困窮者より相談
- 2 窓口担当者が食の支援が必要と判断
- 3 ふーどばんくOSAKAへ食品提供依頼
- 4 ふーどばんくOSAKAより相談窓口へ食品配送
- 5 相談窓口より、相談者へ



# “ことわらない”相談窓口 世帯が自立するまで寄り添う

## もっと早く 相談したらよかった

生活困窮者自立支援法に基づき、各区には、自立相談支援事業の相談窓口を設置しています。ここでは、生活保護に至る前における様々なお困りごとを抱えた方々の、生活や就労に関する相談を受付けます。窓口には2～4名の相談支援員が常駐しており、就労や心身の状況、地域社会からの孤立など困窮に至った背景事情も踏まえながら、「どのような支援が必要か」を一緒に考え、その人に応じた自立支援プランを作成します。プランは、区役所、関係機関を交えた「支援調整会議」で内容を確認し、そのプランに基づいた各種サービスを提供していきます。提供開始から1か月、3か月、6か月と定期的にモニタリングし、状況に応じてプランの変更を検討しながら、自立まで支援します。

相談事業とともに、多重債務を抱えている人や家計管理に課題がある人に対して、家計支援プランを作成（家計改善支援事業）します。家計の「見える化」を図り、本人が自己管理できるようにサポートします。

昨年度の相談件数は、約8000件。相



大阪市福祉局生活福祉部  
生活困窮者支援担当  
課長代理 **福原 範彦さん**

談者からは「親身に話を聞いてもらえ、ほっとした」「望んでいる仕事と一致しないと思っていたが、結果的に満足した」「もっと早く相談したらよかった」などの声が聞かれました。

「高齢、障がい、児童・母子の分野にとられずに、困窮という切り口で世帯全体に寄り添っていく伴走型の支援です。『ことわらない』が原則」と生活困窮者支援担当課長代理の福原範彦さん。

## 2段階のステップで 就労にチャレンジ

過去に失敗や病気等の理由から離職しその後長らく引きこもってしまった方や、心身に課題を抱えた方の場合、すぐに一般の事業所へ就職することは、本人も受け入れ先も負担が大きいものです。

就労チャレンジ事業では、相談者の就労準備を2段階でサポート。まず、生活リズムやコミュニケーションなどを改善する訓練を受け（就労準備支援事業）、次に、市が認定した協力事業者のもとで、就労・訓練を行います（就労訓練事業）。

このほか 就労に向けて有期で家賃相当額を支給する「住居確保給付金」や主に中学生を対象に専門的な相談員を派遣し、進学に向けて個別支援をする「子ども自立アシスト事業」（P.4）などを実施しています。

## 公共料金の滞納が 早期発見のきっかけに

本当に困っている人の中には、困っているという自覚がない人も少なくありません。このような人たちを早期に発見するため、相談支援員は、各地域へ出向いて、学校、社協、NPOなど関係機関と顔の見える関係を作り、地域の情報を得られるようにしています。更に庁内の関係部署とも連携し、例えば、公共料金の納付相談などで生活にお困りの方を把握した場合には、自立相談支援事業の窓口へつなぐなど、早期支援の実践に努めています。

「まずは、相談窓口があることを知ってもらうことが第一。制度が届いていない方へのアプローチとしては、ネットカフェや図書館、スーパーなど日常的に目につく場所に、相談窓口のチラシが配架されるように努めています。生活のお困りごとを抱えた方は一度、ご相談ください。」と福原さん。

## ●各区自立相談支援機関一覧

| 区名  | 機関名            | 電話番号         | 区名  | 機関名              | 電話番号         |
|-----|----------------|--------------|-----|------------------|--------------|
| 北   | よりそいサポートきた     | 06-6809-2814 | 東淀川 | くらしのみのり相談窓口      | 06-6320-0231 |
| 都島  | 生活自立相談窓口       | 06-4800-4800 | 東成  | 自立相談支援窓口         | 06-6977-9126 |
| 福島  | 生活あんしん相談窓口     | 06-6468-6340 | 生野  | 生活自立支援相談窓口       | 06-6717-6565 |
| 此花  | 自立相談支援窓口       | 06-6466-9530 | 旭   | くらし相談窓口          | 06-6953-2380 |
| 中央  | 生活自立相談窓口       | 06-7507-1487 | 城東  | ウィズゆうゆう          | 06-6936-1181 |
| 西   | ぱらっとほーむ西       | 06-6538-6400 | 鶴見  | 自立アシスト相談         | 06-6913-7060 |
| 港   | くらしのサポートコーナー   | 06-6576-9897 | 阿倍野 | 仕事・生活自立相談あべの     | 06-6622-9795 |
| 大正  | インコス大正         | 06-4394-9925 | 住之江 | 暮らしさぽーと相談センターすみえ | 06-6682-9824 |
| 天王寺 | サポート天王寺        | 06-6774-9937 | 住吉  | 生活自立相談窓口         | 06-6654-7763 |
| 浪速  | くらしサポートセンターなにわ | 06-6536-8861 | 東住吉 | くらしサポート          | 06-6621-3011 |
| 西淀川 | 生活自立相談・就労支援窓口  | 06-6471-8222 | 平野  | くらしサポートセンター平野    | 06-6700-9250 |
| 淀川  | 生活自立相談窓口       | 06-6195-7851 | 西成  | はぎさばーと           | 06-6115-8070 |

制度全般に関することは、大阪市福祉局生活福祉部自立支援課（06-6208-7959）まで



# 子どもの支援は日頃のつながりがあってこそ

Office ドーナツワーク代表「子ども自立アシスト事業」スーパーバイザー 田中 俊英さん

## グローバル化や 非正規雇用の影響

経済のグローバル化に基づき、1990年代以降、非正規雇用が増え、今や全体の約4割を占めるほどになりました。非正規雇用の増加により「経済的下流層」が生まれ、その中でも自力で助けが求められたり、声を上げることができる人たち、例えば、「学習支援」や「子ども食堂」の支援を受けている人もいますが、深刻なのは「貧困コア層」と呼ばれる人たちです。さまざまな事情で声を上げることさえできない、生活困窮自立支援事業の対象ではあるものの、情報が届いていない、また、十分な支援が届いていないのが実態です。

これまで、NPOなどの団体が学習支援をしてきましたが、対象のほとんどは、学習ニーズのある若者に限られていたのではないのでしょうか。真の「貧困コア層」には、ニーズがそもそもありません。大人としてのモデルを親しか知らず、「勉強なんかなくていい」と言い続けられる環境に育ったため、学習意欲がなく、やがて子どもたちは学校に行かなくなり、自分の人生はそこで終わると思っているのです。

## 高校内居場所カフェで 中退を防ぎ、進学を支援

高校生たちに出会い、悩みに早めに気づくことで、生徒の中退を防止し、また、進学を支援するために6年前「高校内居場所カフェ」を西成高校に開設しました。NPOスタッフや地域のボランティアが雑談しながら話を聞きます。

引きこもっている子、軽度の知的障がいがある子、虐待を受けた子、親が精神疾患の子など、貧困だけではない複雑

な問題を抱えた子は少なくありません。障がいがありアルバイト先でうまくやれない子には利用できる福祉制度を紹介したり、高校を中退したシングルマザーには通信制高校で不足単位を補うことで卒業につなげたり、また、孤立している子には、悩みを抱えた子が主人公になった文学作品や人気アニメを介して「一人ではないよ」と伝えることから始めることもあります。様々な支援をとおして、親子とも生きる意欲を取り戻し、貧困の連鎖が起きないように働きかけています。

## 中学生への学習支援 「子ども自立アシスト事業」

大阪市が生活困窮者自立支援制度で取り組んでいる「子ども自立アシスト事業」は、中学生に焦点をあてた画期的なものです。引きこもりがちな子どものいる生活困窮世帯への定期的な訪問を通じて、家庭の抱える課題を把握・分析し、総合的に支援を進めていきます。高校に進学できなかったなど、家庭の貧困の波に飲み込まれてしまうことを未然に防ぐことにつながります。

また、この事業には、子どもの貧困問題に対して複数の団体が一丸となって支援します。地域の諸団体とつながりを持つ生活困窮担当窓口を中心に、子育て支援室（保健福祉センター）やケースによっては子ども相談センターが連携



し、NPOなどによる学習支援、困難事例にはスーパーバイザーがサポートします。縦割りの壁を突き崩し行政と民間の効果的なネットワークの中で支援をしていきます。間口が広いので、どの機関に相談があっても、子ども自立アシスト事業へ導くことができます。

## 困りごとに負けない 「高校生サバイバー」

虐待や不登校、貧困等で乳幼児期から困難を極めた人生を何とか通過し高校に入ることができた子、いじめや貧困、ステップファミリー等の複雑な家族環境、不登校やひきこもりを乗り越えて高校を卒業した子たちのことを「よくぞここまでがんばった」という想いを込めて「高校生サバイバー」と呼んでいます。

高校内居場所カフェは、神奈川、北海道、宮城など全国で約30か所。100校まで広がり、貧困コア層を包み込む支援が実現することに期待しています。どんな困難にあっても乗り越えられる「高校生サバイバー」を社会に送り出していくことで、少子社会の日本が強くなると確信しています。

## 一般社団法人 office ドーナツワーク

2013年に設立。子ども若者問題（不登校・ニート・ひきこもり・貧困問題等）の支援と、NPOや行政への中間支援を行なう。西成高校「となりカフェ」・長吉高校「なかカフェ」など府立高校4校で高校内居場所カフェを運営。生活困窮者自立支援制度の「自立支援アシスト事業」では特定非営利活動法人 志塾フリースクールとともに東・南エリアを受託している。



# 平成31(2019)年度 大阪市社会福祉研修・情報センター 研修計画一覧

具体的な内容についてはホームページ (<http://www.wel-osaka.jp/>) に掲載します。

## 【福祉従事者向け研修】

| 研修名                        |                       | 内容(わらい)                                                                                          | 実施回数<br>(日数) | 定員  | 実施時期                           | 受講料              |
|----------------------------|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-----|--------------------------------|------------------|
| 生涯キャリアパス対応<br>研修課程         | 初任者コース                | チームの一員としての基本を習得し、福祉職員としてのキャリアアップの方向を示唆する                                                         | 1回<br>(3日間)  | 50  | 8月9・29・30日                     | 9,000<br>+テキスト代  |
|                            | 中堅職員コース               | 中堅職員としての役割を遂行するための基本を習得し、キャリアアップの方向を示唆する                                                         | 1回<br>(3日間)  | 50  | 6月18日<br>7月23・24日              | 9,000<br>+テキスト代  |
|                            | チームリーダーコース            | チームリーダー等の役割を遂行するための基本を習得し、キャリアアップの方向を示唆する                                                        | 1回<br>(3日間)  | 50  | 8月19日<br>9月17・26日              | 9,000<br>+テキスト代  |
|                            | 管理職員コース               | 管理者としての役割を遂行するための基本を習得し、キャリアアップの方向を示唆する                                                          | 1回<br>(2日間)  | 30  | 11月25・29日                      | 6,000<br>+テキスト代  |
| 座談会<br>よこいと                | 新人職員フォローアップ研修・よこいと座談会 | 新任職員を対象に仕事に関する課題や悩みの共有やキャリアアップなど他職種の職員同士の情報交換や横のつながりづくりの促進を図る                                    | 1回<br>(1日)   | 50  | 12月～1月                         | 無料               |
|                            | 管理職員フォローアップ研修・よこいと座談会 | 管理職員を対象に仕事に関する課題や悩みの共有やキャリアアップなど他職種の職員同士の情報交換や横のつながりづくりの促進を図る                                    | 1回<br>(1日)   | 50  | 3月                             | 無料               |
| 福祉サービスの倫理と基本理念「福祉の基本と対人援助」 |                       | 福祉従事者に求められる基本視点、知識を学び、専門職としての役割行動を理解し、利用者へのサービス向上を図る                                             | 1回<br>(2日間)  | 40  | 6月7日<br>7月5日                   | 6,000            |
| スーパービジョン研修                 |                       | 社会福祉実践の質的向上および現場職員の資質向上をめざして、福祉の職場でスーパービジョンを実践できる人材を養成する                                         | 1回<br>(3日間)  | 36  | 未定                             | 未定               |
| メンタルヘルス<br>研修              | 一般職員対象                | メンタル不全のメカニズムを理解し、良好な人間関係を保持しながら、業務を遂行する知識や技術を学び、バーンアウト(燃え尽き症候群)を防ぐ                               | 1回<br>(1日)   | 50  | 7月31日                          | 1,500            |
|                            | 主任・リーダー職員対象           | 職場の要である主任・リーダー職員として、ストレスマネジメントを学び、自身のメンタルヘルスだけでなく、部下へのメンタルサポートの知識と技術を習得し、良質なサービスを提供できるチームづくりを目指す | 1回<br>(2日間)  | 50  | 10月9日<br>10月16日                | 6,000            |
|                            | 管理職員対象                | 管理職としてバーンアウト(燃え尽き症候群)や離職者を減らす対策を考え、より良い福祉サービスが提供できる組織とそのための労働環境を作るポイントについて学ぶ                     | 1回<br>(1日)   | 50  | 1月4日                           | 3,000            |
| リスクマネジメント<br>研修            | 一般職員対象                | リスクマネジメントとは何かを学び、リスクを生みださない考え方や記録の書き方、コンプライアンス(法令遵守)など具体的に気をつける点について学ぶ                           | 1回<br>(1日)   | 50  | 6月24日                          | 3,000            |
|                            | 主任・リーダー職員対象           | リスクマネジメントやコンプライアンス(法令遵守)への気づきから、リスクを生まない環境づくりを学ぶ                                                 | 1回<br>(1日)   | 50  | 8月26日                          | 3,000            |
|                            | 管理職員対象                | 管理職として組織内のリスクマネジメント、コンプライアンス(法令遵守)に関する制度の運用と推進、対策を考え、より良い組織づくりと環境を作るポイントについて学ぶ                   | 1回<br>(1日)   | 50  | 未定                             | 3,000            |
|                            | クレーム対応技術              | 事業者と利用者の信頼関係を構築するため、苦情対応の知識と技術を身につけ、適切に解決していく方法を習得する                                             | 未定           | 50  | 未定                             | 3,000            |
| 組織運営・管理<br>研修              | 労務管理研修                | 労働関係法令を正しく理解し、多様な雇用形態における社会保険・労働保険等の労務手続きについて学ぶ                                                  | 1回<br>(2日間)  | 50  | 6月5日<br>6月12日                  | 3,000            |
|                            | 財務管理研修                | 社会福祉施設・事業所の会計担当者・管理者が「社会福祉法人会計基準(省令)」に基づいた会計実務について知識や技術を習得する                                     | 2回<br>(各1日)  | 50  | 10月9日<br>10月16日                | 各3,000           |
|                            | 職場研修推進研修              | 職場研修の重要性を認識し、研修のニーズを把握することや、職場研修の仕組みを理解する                                                        | 1回<br>(1日)   | 30  | 未定                             | 1,500            |
|                            | OJT推進研修               | OJTの重要性と推進体制を理解し、効果的な指導方法を学ぶ                                                                     | 1回<br>(2日間)  | 45  | 未定                             | 未定               |
|                            | 接遇マナー・電話応対            | 利用者・家族との信頼関係を築くのに必要な、好感をもたれる丁寧な応対を実践的に学ぶ                                                         | 1回<br>(1日)   | 60  | 5月17日                          | 3,000            |
|                            | 相談面接の技術               | 援助関係の本質を知り、面接の技術を磨き、対人援助活動をよりスムーズに行うために、的確で好感をもたれるスキルを演習を交えて実践的に学ぶ                               | 3回<br>(各1日)  | 各36 | 7月2日・9日<br>8月6日                | 各3,000           |
|                            | コミュニケーション研修           | 利用者や職場の同僚・上司との関わり方、家族との関係など人との付き合い方の効果的な方法・技術を楽しく身につける                                           | 2回<br>(各1日)  | 各40 | 8月21日・28日                      | 各3,000           |
|                            | ファシリテーション研修           | 場を活性化し、メンバーそれぞれの持ち味を活かすファシリテーションの技術を学ぶ                                                           | 1回<br>(1日)   | 60  | 5月24日                          | 3,000            |
|                            | プレゼンテーション研修           | プレゼンテーションの基礎を実践的に学ぶ                                                                              | 1回<br>(2日)   | 30  | 12月3日<br>12月10日                | 6,000            |
|                            | 職場における人間関係研修          | 職場の「ちょっと変わった人」「困った人」は、障がいなのか個性なのか。人間関係を取りづらい職員への、理解を深め積極的に対応することで、より働きやすい職場づくりを目指す               | 1回<br>(1日)   | 50  | 未定                             | 1,500            |
| 多職種連携・地域協働・地域課題の発見と解決に向けて  | 地域を基盤としたソーシャルワーク研修    | 地域支援機能と個別支援機能の強み・弱みの双方を理解し、両機能を連携させた、地域を基盤としたソーシャルワークの理念を学ぶ                                      | 1回<br>(2日間)  | 50  | 未定                             | 3,000            |
|                            | コミュニティソーシャルワーク実践講座    | 地域を基盤としたソーシャルワークを実践するため、地域支援機能と個別支援機能の強み・弱みの双方を理解し、地域福祉の理念とコミュニティワーク事例検討から、その具体的方法論を学ぶ           | 1回<br>(5日間)  | 30  | 未定                             | 7,500            |
|                            | 社会福祉施設職員の地域福祉実践講座     | 地域の中で暮らす人の自立生活を支援するため、地域住民との協働を、福祉施設職員として、いかに実践していくのかの具体的な手法を学ぶ                                  | 1回<br>(5日間)  | 15  | 6月17日<br>7月8日・25日<br>2月18日・25日 | 15,000<br>+テキスト代 |
|                            | 相談支援機関の連携研修(新)        | 地域において、複合的な課題を抱えるなど、支援が困難な事例の対応について、関係の相談支援機関がどのように連携して課題解決へと進めていくか、具体的な手法を学ぶ                    | 1回<br>(1日)   | 100 | 未定                             | 無料               |
| 障がい福祉関係<br>研修              | 基礎研修                  |                                                                                                  | 未定           | 100 | 未定                             | 未定               |
|                            | 事業所別研修                | 障がい児・者を取り巻く課題(虐待)や現状とともに、支援のあり方について学ぶ                                                            | 未定           | 50  | 未定                             | 未定               |
|                            | 専門研修                  |                                                                                                  | 未定           | 50  | 未定                             | 未定               |
|                            | 精神障がいのある人と家族への支援実践講座  | 高齢者支援をする福祉従事者が、精神障がいのある人と家族を支援するため基本的な視点や支援方法について学び、支援の実践力の向上を図る講座修了者への事例検討あり(希望者のみ参加)           | 1回<br>(2日間)  | 24  | 8月頃                            | 6,000            |

| 研修名                   |                                    | 内容(わらい)                                                                                                   | 実施回数<br>(日数)     | 定員   | 実施時期                                             | 受講料                   |
|-----------------------|------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------|--------------------------------------------------|-----------------------|
| 関係福祉<br>研修            | 高齢福祉関係研修                           | 高齢者を取り巻く課題や現状とともに、支援のあり方について学ぶ                                                                            | 未定               | 未定   | 未定                                               | 未定                    |
| 認知症介護実践<br>研修         | 認知症介護基礎研修                          | 認知症に関する基礎的な知識を身につけ、基礎的なサービス提供に必要な技術とそれを実践する際の考え方を修得する                                                     | 3回<br>(各1日)      | 各96  | 6月4日<br>8月28日<br>12月13日                          | 各4,000<br>含テキスト代      |
|                       | 認知症介護実践者研修                         | 施設、在宅にかかわらず、認知症の原因疾患や容態に応じ、本人やその家族の生活の質の向上を図る対応や技術を修得する                                                   | 5回<br>(各7日間)     | 各72  | 5月～1月                                            | 各30,000<br>+テキスト代     |
|                       | 認知症介護実践リーダー研修                      | ケアチームにおける指導的立場としてチーム員の知識・技術・態度を指導する能力及びチームリーダーとしてのチームマネジメント能力を修得する                                        | 2回<br>(各11日間)    | 各30  | 7月～9月<br>1月～3月                                   | 各42,000<br>+テキスト代     |
|                       | 認知症介護実践リーダー研修<br>修了者フォローアップ研修      | リーダー研修修了者に対して、知識やスキルを高めるための専門的なフォローアップを行うことにより、大阪市全体の認知症ケア対応力の向上を目指す                                      | 2回<br>(各1日)      | 各50  | 未定                                               | 無料                    |
|                       | 地域密着型サービス認知症<br>介護研修               | 地域密着型サービス事業所の開設者、管理者、計画作成担当者がそれぞれ必要な知識・技術を身につける                                                           | 2回<br>(各3コース)    | 各90  | 8月～9月<br>2月                                      | 各5,500                |
| 介護職員研修                | 介護職援助の基本編<br>「利用者の尊厳を考える」          | 利用者の尊厳について考えることにより、介護の質の向上を図る                                                                             | 1回<br>(1日)       | 30   | 秋                                                | 1,500                 |
|                       | 介護職援助の基本編<br>「グリーフケア」              | 死別等の喪失や悲しみを経験した家族とその周囲の人への支援について学ぶ                                                                        | 1回<br>(1日)       | 30   | 冬                                                | 1,500                 |
|                       | 介護職援助の技術編<br>「初任者向け介護技術」           | 介護職員経験3年未満の職員を対象に、介護に関する基本技術を学ぶ                                                                           | 1回<br>(3日間)      | 20   | 7月～8月                                            | 9,000                 |
|                       | 介護職援助の技術編<br>「ステップアップ介護技術」         | 介護職員経験3年以上の中堅職員等を対象に、移動、排せつ、食事の介護に関する技術の応用を学ぶ                                                             | 1回<br>(3日間)      | 20   | 10月～11月                                          | 9,000<br>+テキスト代       |
|                       | 介護職援助の技術編<br>「アクティビティ」             | 介護職員に求められる援助技術の基本を学び、レクリエーション技術を含むアクティビティを通じた、QOLの向上方法を学ぶ                                                 | 1回<br>(1日)       | 40   | 9月12日                                            | 3,000                 |
|                       | 介護サービス主任・リーダー研修<br>訪問介護サービス提供責任者研修 | 介護保険制度の現状を理解するとともに、それぞれの役割や倫理、スタッフを支え育てる視点等について事例検討を通じて学び、支援の力量を高める                                       | 1回<br>(2日間)      | 30   | 未定                                               | 6,000                 |
|                       | 介護サービス主任・リーダー研修<br>介護主任リーダー研修      |                                                                                                           | 1回<br>(2日間)      | 30   | 未定                                               | 6,000                 |
|                       | 介護職員実務者研修通信課程                      | 全国社会福祉協議会の通信課程のスクーリングを実施し、介護福祉士の養成・確保を図る                                                                  | 面接授業・<br>演習の2コース | 10   | 8月30・31日、9月6日、<br>10月4・11・18・25・<br>31日、11月7・14日 | 保育資格によって<br>受講料が異なります |
| 社会福祉施設職員人権研修          |                                    | 社会福祉施設の職員として人権問題を正しく理解し、人権意識の向上を図る                                                                        | 4回<br>(各1日)      | 各100 | 5月～1月                                            | 無料                    |
| 福祉人材養成連絡協議会<br>会員提供講座 |                                    | 福祉人材の確保・養成を図り、福祉関係者の育成を目的に研修を実施する                                                                         | 2回<br>(1日)       | 40   | 未定                                               | 無料                    |
| 地域福祉<br>推進者<br>研修     | 地域福祉活動者講座 基礎編                      | 地域福祉活動の理念や基本的な考え方を学ぶ                                                                                      | 1回<br>(3日)       | 50   | 未定                                               | 資料代                   |
|                       | 地域福祉活動者講座 実践編                      | 地域福祉活動で活用できる様々な手法について学ぶ                                                                                   | 1回<br>(3日)       | 50   | 未定                                               | 資料代                   |
|                       | 地域福祉推進リーダー養成塾                      | 福祉コミュニティづくりにおけるネットワークの構築とその運営方法を学び、地域福祉を推進する人材の養成を目指す                                                     | 1回<br>(3日)       | 30   | 未定                                               | 資料代                   |
| 福祉人材<br>確保<br>事業      | 潜在的有資格者復職支援事業                      | 資格を有しながら、様々な理由で業務を離れている方を対象に、復職や就職につながる講座やイベントを実施する                                                       | 未定               | 未定   | 未定                                               | 無料                    |
|                       | 子育て世代等新たな担い手<br>福祉啓発事業             | 今まで福祉に接点のなかった世代が福祉の仕事に出会い、理解を深めることができる“きっかけ”づくりを行う。また、子育てしながら働きたいと考える方に対して、福祉の仕事を選択肢に加えてもらえるよう、魅力をアピールする。 | 未定               | 未定   | 未定                                               | 無料                    |
|                       | 求人・広報力 向上研修                        | 福祉への就職を希望する人に対して、効果的な求人情報の提供や発信の方法について学ぶ                                                                  | 1回<br>(1日)       | 40   | 5～7月頃                                            | 無料                    |
|                       | 福祉人材受入・定着支援研修                      | 新たに入職した新任スタッフがスムーズに業務に就き、サービス提供できるよう、職場や事業所としての支援策を学ぶ                                                     | 1回<br>(1日)       | 40   | 1～2月頃                                            | 無料                    |

## 【市民向け講座】

| 講座名          |                            | 内容(わらい)                                                                       | 実施回数<br>(日数)  | 定員  | 実施時期             | 受講料  |
|--------------|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------|-----|------------------|------|
| 社会福祉講演会      |                            | 社会福祉の動向や福祉実践等をテーマとし、市民啓発及び福祉関係職員の資質向上を目的とする                                   | 3回<br>(各1日)   | 未定  | 未定               | 無料   |
| 社会福祉史の市民講座   |                            | 大阪には全国でも先駆的な福祉実践が多く存在する。それらに取り組んできた先達から学び、今後の大阪の福祉について考える機会を設ける               | 3回<br>(各1日)   | 各50 | 未定               | 無料   |
| 市民のための認知症研修会 |                            | 認知症の方を地域でケアしていく意味と実際について学ぶ                                                    | 1回<br>(1日)    | 100 | 12月7日            | 無料   |
| 介護実習講座       | 入門コース                      | 介護を初めて行う方が、介護への認識・興味を深め、基本となる簡単な介護を体験する                                       | 8回<br>(各3日間)  | 各20 | 4月～2月            | 各500 |
|              | ステップアップ(応用)<br>テーマ別コース     | 介護技術・知識の復習や、向上をめざしてテーマごとに学ぶ(テーマ:移動①、移動②、排泄・着脱介助、食事介助、応急手当(12月のみ)、口腔ケア(3月のみ)等) | 4回<br>(各5テーマ) | 各20 | 6月・9月・<br>12月・3月 | 各100 |
|              | 介護者のための介護食講座               | 介護者のために短時間で、簡単にできる調理法や介護食について学ぶ<br>※「高齢者にやさしい食事・介護職の調理法実演講座」として開催             | 1回<br>(1日)    | 30  | 未定               | 無料   |
|              | おさらい介護教室                   | 介護実習講座で学んだ内容を復習することで、介護技術や知識の向上を図る                                            | 1回<br>(1日)    | 20  | 12月7日            | 無料   |
|              | 介護技術講座<br>～持ち上げない介護技術を学ぼう～ | 身体への負担を軽減する福祉用具を用いた、介護者のための持ち上げない介助方法を学ぶ                                      | 1回<br>(1日)    | 20  | 未定               | 100  |
| 自助具製作体験講座    |                            | 自助具への理解を深め、その普及と自助具製作に関わる人材育成を目的とする                                           | 1回<br>(1日)    | 20  | 12月7日            | 材料代  |

※実施時期等については、主催者の都合で変更する場合があります。

# 講座案内

## ●市民向け講座 市内在住、在勤、在学の方

| 講座名                         | 日 時                                                                                                                      | 受講決定                         | 講 師                | 内 容                                                                                                | その他                                                                               |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 【介護実習講座】<br>介護実習講座<br>入門コース | ①4月13日(土)<br>②4月20日(土)<br>③4月27日(土)<br>いずれも<br>13:30～16:00<br>①5月14日(火)<br>②5月21日(火)<br>③5月28日(火)<br>いずれも<br>10:00～12:30 | 開講日の約1週間前<br>に受講証をお送りし<br>ます | 専門学校講師、<br>介護福祉士など | 初めて介護をされる方に、家庭での介護の<br>知識や技術を体験いただき、介護への関心<br>や理解を深めるコースです。<br>【テーマ】<br>①移動<br>②食事介助・衣服交換<br>③清潔介護 | 定員:各テーマ<br>20人(先着順)<br>希望される方は、<br>お問合せください<br>受講:500円(資料代)<br>受講当日に現金で<br>申し受けます |

### ◆市民向け講座の申込み方法◆

ハガキ・FAX・メールに次の必要事項を記入して、お申し込みください(当センターホームページや電話での申込みも受け付けます)

[必要事項] ①講座名 ②名前(ふりがな) ③郵便番号・住所 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥大阪市在住でない場合は、勤務先または学校名と所在地  
介護実習講座を申込みの方は⑦介護経験の有無(有の人は年数も記入)

## ●福祉従事者向け研修 申し込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

| 研修名                                   | 日 時                                                                                                                                      | 受講対象者                                                                             | 講 師                                         | 内 容                                                                                                                                                           | その他                                                            |
|---------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 福祉職員キャリアパス対応<br>生涯研修課程<br>(中堅職員コース)   | ①6月18日(火)<br>②7月23日(火)<br>③7月24日(水)<br>いずれも<br>10:00～17:00                                                                               | 大阪市内の福祉関係<br>施設・事業所に勤務<br>する、おおむね3～5<br>年程度の職員                                    | 四天王寺大学<br>講師 吉田 祐一郎<br>聖和短期大学<br>准教授 立花 直樹  | 福祉・介護職員自らのキャリアアップの道<br>筋(キャリアパス)を描き、それぞれのキャ<br>リアパスの段階に応じて共通に求められる<br>能力を段階的・体系的に習得します。                                                                       | 定員:50名<br>締切:5月7日(火)<br>受講料:9,000円+<br>テキスト代1,000円             |
| 福祉サービスの倫理と<br>基本理念<br>「福祉の基本と対人援助」    | 6月7日(金)<br>7月5日(金)<br>10:00～16:30                                                                                                        |                                                                                   | 同志社大学 社会学部<br>教授 小山 隆                       | 福祉従事者に求められる基本視点、知識を<br>学び、専門職としての役割行動を理解し、<br>利用者へのサービス向上を図ります。                                                                                               | 定員:50人<br>締切:5月17日(金)<br>受講料:6,000円                            |
| マニピュレーション研修<br>一般職員対象                 | 6月24日(月)<br>10:00～16:30                                                                                                                  | 大阪市内の社会福<br>祉関係施設・事業所<br>に従事する方                                                   | 兵庫県対人援助研究所<br>主宰 稲松 真人                      | リスクマネジメントとは何かを学び、リス<br>クを生みださない考え方や記録の書き方、コ<br>ンプライアンス(法令遵守)など具体的に<br>気をつける点について学びます。                                                                         | 定員:50人<br>締切:6月3日(月)<br>受講料:3,000円                             |
| 【組織運営・管理研修】<br>接遇マナー・<br>電話応対研修       | 5月17日(金)<br>10:00～16:30                                                                                                                  |                                                                                   | 株式会社女性ライフ<br>サイクル研究所<br>関西フェリアン<br>副所長 津村 薫 | 利用者・家族との信頼関係を築くのに必要<br>な、好感をもたれる丁寧な応対を実践的に<br>学びます。                                                                                                           | 定員:60人<br>締切:4月19日(金)<br>受講料:3,000円                            |
| ファシリテーション<br>研修                       | 5月24日(金)<br>10:00～16:30                                                                                                                  |                                                                                   |                                             | 場を活性化し、メンバーそれぞれの持ち味<br>を活かすファシリテーションの技術を学び<br>ます。                                                                                                             | 定員:60名<br>締切:4月26日(金)<br>受講料:3,000円                            |
| 労務管理研修                                | 6月5日(水)<br>6月12日(水)<br>13:30～17:00                                                                                                       | 大阪市内の社会福祉<br>関係施設・事業所の<br>労務管理担当者など                                               | 社会保険労務士法人<br>アイアール<br>樽谷総合事務所<br>代表 樽谷 かず子  | 労働関係法令を正しく理解し、多様な雇用<br>形態における社会保険・労働保険等の労務<br>手続きについて学ぶ                                                                                                       | 定員:50名<br>締切:5月8日(水)<br>受講料:3,000円                             |
| 課題の発見と解決に向けて<br>社会福祉施設職員の<br>地域福祉実践講座 | ①6月17日(月)<br>②7月8日(月)<br>③7月25日(木)<br>④2月18日(火)<br>⑤2月25日(火)<br>10:00～17:00                                                              | 大阪市内の福祉施<br>設・事業所・社会福祉<br>協議会に勤務し地域<br>福祉実践への意欲<br>がある方                           | 大阪教育大学<br>教授 新崎 国広                          | 地域の中で暮らす人の自立生活を支援す<br>るため、地域住民との協働を、福祉施設職<br>員として、いかに実践していくのかの具<br>体的手法を学ぶ                                                                                    | 定員:15名<br>締切:5月17日(金)<br>受講料:15,000円+<br>テキスト代2,000円           |
| 第1回 認知症介護<br>基礎研修                     | 6月4日(火)<br>9:30～17:10                                                                                                                    | 大阪市内の介護保<br>険施設・事業所等<br>に従事する方                                                    |                                             | 認知症介護業務を遂行する上で基礎的な知<br>識・技術とそれを実践する際の考え方を身につ<br>け、チームアプローチに参画する一員として基<br>礎的なサービス提供を行うことを目指します。                                                                | 定員:96人<br>締切:5月13日(月)<br>受講料:4,000円                            |
| 第1回 認知症介護<br>実践者研修                    | ①5月15日(水)<br>②5月16日(木)<br>③5月22日(水)<br>④5月23日(木)<br>⑤5月29日(水)<br>⑥5月30日(木)<br>⑦7月4日(木)                                                   | 大阪市の介護保険<br>施設・指定居宅サー<br>ビス事業所または、<br>地域密着型サービ<br>ス等において現に認<br>知症介護業務に従<br>事している方 | 大阪市認知症介護<br>指導者                             | 講義:7日間 自施設実習:4週間<br>価値と倫理を根底に、対人援助の知識・技術<br>について深く考え、施設・在宅にかかわらず<br>認知症の原因疾患や容態に応じ、本人やそ<br>の家族の生活の質の向上を図る対応や技術<br>を修得します。                                     | 定員:72人<br>締切:4月17日(水)<br>受講料:30,000円+<br>研修用テキスト<br>3,300円(税込) |
| 第1回 認知症介護<br>実践リーダー研修<br>(第19期)       | ①7月10日(水)<br>②7月11日(木)<br>③7月17日(水)<br>④7月18日(木)<br>⑤7月24日(水)<br>⑥7月25日(木)<br>⑦7月31日(水)<br>⑧8月1日(木)<br>⑨8月7日(水)<br>⑩8月8日(木)<br>⑪9月11日(水) |                                                                                   |                                             | 講義:11日間 自施設実習:18日間<br>認知症介護の理念を自らの介護現場での実<br>践において実践し、実践リーダーとして他の<br>職員を支援・指導しながら、チームケアのた<br>めの調整役を担い、地域でのネットワーク作<br>りの視点をもって認知症介護の質の向上の<br>推進役となるリーダーを養成します。 | 定員:30人<br>締切:5月13日(月)<br>受講料:42,000円+<br>研修用テキスト<br>4,400円(税込) |

※日程及び締切日は、主催者の都合で変更する場合があります。

◆福祉従事者向け研修の申込み方法◆当センターのホームページから申込み、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください

上記の会場・申込・問合せ先

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201

FAX06-4392-8272

🌐http://www.wel-osaka.jp

✉kensyu@shakyo-osaka.jp



## 図書・資料閲覧室からのお知らせ

### 雑誌紹介

こんな雑誌が  
借りられます



「ケアマネジャー」  
(中央法規)  
ケアマネジャー専門誌



「認知症ケア」  
(日総研出版)  
認知症ケアの専門誌



「へるぱる」  
(世界文化社)  
訪問介護をサポートする情報誌



「レクリエ」  
(世界文化社)  
高齢者介護のレクリエーション情報誌



「実践障害児教育」  
(学研プラス)  
発達障がいのある子を支援する  
特別支援教育の情報誌



「新聞記事からできた本 こども」  
(クマノミ出版)  
こどもに関する記事を集めた  
新聞スクラップ誌



「生活と福祉」  
(全国社会福祉協議会)  
生活保護の動向を追求する  
専門誌



「The Big issue Japan」  
(ビッグイシュー日本)  
ホームレスの社会復帰を  
応援する雑誌



大阪市社会福祉研修・情報センター2階にある「図書・資料閲覧室」には、社会福祉に関する  
図書・約17,200冊、DVD・約930本、雑誌・約27種類を無料で貸し出しています！

**開室時間**／月曜日～土曜日(祝日、年末年始は除く)午前9時30分～午後5時

**貸出期間**／2週間(図書・雑誌等は5冊、DVD・ビデオは5本まで)

**利用資格**／貸出し期間(2週間)内に、来館しての返却が可能な方

※郵送での返却はできません

※初回の登録時には、住所・名前などの証明ができる本人確認書類(免許証・保険証など)をご持参ください

**問合せ先**／ ☎06-4392-8233 お電話で図書・DVDの予約も承ります

## 大阪市社会福祉研究 第42号 「研究論文」及び「実践報告」募集

年刊研究誌「大阪市社会福祉研究」では、市内で社会福祉の実践を行っている団体、グループ及び個人が  
自発的に研究活動を行い、その成果をまとめた「研究論文」及び「実践報告」を募集します。

### 【募集範囲】

- ①大阪市社会事業施設協議会に加盟する各施設の職員
  - ②大阪市社会福祉協議会及び各区社会福祉協議会の職員
  - ③大阪市福祉局・こども青少年局及び各区保健福祉センターの職員
  - ④大阪市内で社会福祉の実践を行っているグループ、個人などで  
大阪市社会福祉研修・情報センター所長が認める者
- ※いずれも、個人による研究のほか、グループによる共同研究・  
執筆も可とします。

### 【原稿内容】

- ①テーマは「社会福祉」の範囲とします。
- ②研究論文、研究ノート、実践報告等、福祉の実践のうえで生起  
する諸問題について、その解決のための示唆や方向づけを与  
えるものとします。
- ③原稿は、未公開(未発表)のものに限ります。

### 【原稿字数】

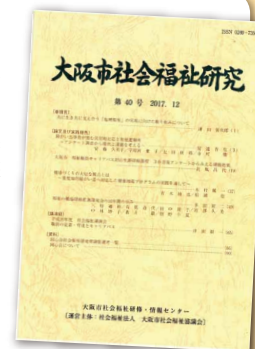
参考文献・図表等も含め、18,400字以内(パソコンで作成され  
た原稿)とします。

### 【応募方法】

所定の応募用紙により、5月24日(金)  
までに下記センターへ「応募用紙」を  
お送りください。原稿の締め切りは  
7月12日(金)とし、提出論文から編集  
委員会にて掲載論文を選定し、掲載候  
補となったものについて、あらためて  
「執筆依頼」を送付します。

### 【その他】

- ①「大阪市社会福祉研究」への提出論  
文については、政治的・宗教的活動  
に使用しないこととします。
  - ②「大阪市社会福祉研究」に掲載された論文及び実践報告に  
ついて審査し、優秀と認められた場合に、同心会より研究奨  
励賞、研究努力賞、会長賞が授与されます。
- ※「応募用紙」は、ホームページのお知らせ欄よりダウンロー  
ドできます。



●申込先・問合せ先▶

大阪市社会福祉研修・情報センター

〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎kensyu@shakyo-osaka.jp

☎06-4392-8201

FAX 06-4392-8272

http://www.wel-osaka.jp/



# 大人女子が注目! 40代からの骨事情

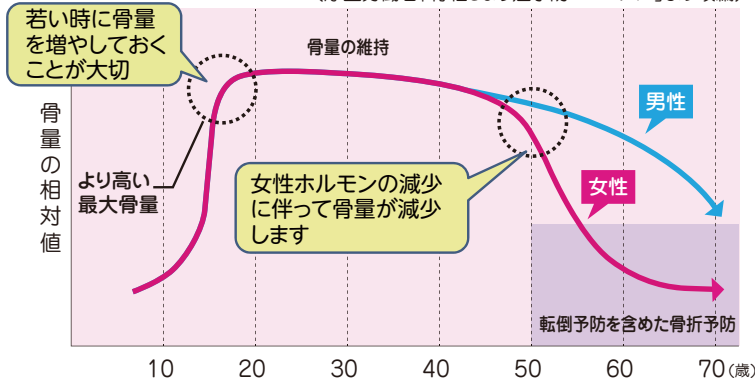
?



女性は閉経後急激に骨量が低下します!

## ●ライフステージごとの骨粗しょう症対策

(厚生労働省「骨粗しょう症予防マニュアル」より改編)



## 大阪市骨粗しょう症検診

**対象** 18歳以上のお阪市民  
**日程** 「大阪市ホームページ」または下記まで  
**場所** 各区保健福祉センター等  
**申込** 予約制。下記までお電話ください。  
**方法** QUS法(超音波)



裸足になって  
片足を  
いれるだけ



お電話  
ください

近くて便利 無料 夜間・休日も実施あり 結果はその場で

問い合わせ・申し込み先 各区保健福祉センターの電話番号は「4ケタ△△△△-9882」です

|       |      |       |      |       |      |       |      |
|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| 北 区   | 6313 | 都 島 区 | 6882 | 福 島 区 | 6464 | 此 花 区 | 6466 |
| 中 央 区 | 6267 | 西 区   | 6532 | 港 区   | 6576 | 大 正 区 | 4394 |
| 天王寺区  | 6774 | 浪 速 区 | 6647 | 西淀川区  | 6478 | 淀 川 区 | 6308 |
| 東淀川区  | 4809 | 東 成 区 | 6977 | 生 野 区 | 6715 | 旭 区   | 6957 |
| 城 東 区 | 6930 | 鶴 見 区 | 6915 | 阿倍野区  | 6622 | 住之江区  | 6682 |
| 住 吉 区 | 6694 | 東住吉区  | 4399 | 平 野 区 | 4302 | 西 成 区 | 6659 |

その他にも検診を実施しています! 胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診  
子宮頸がん検診・乳がん検診・歯周病検診

問合せ大阪市健康局健康づくり課(成人保健) ☎06-6208-9943

## 今月の自助具

資料提供 特定非営利活動法人 自助具の部屋

## 片手用爪切り(ミニ)

主な適応疾患・対象者▶

- 怪我や脳卒中などで片手動作や片麻痺の人、または、握力の無い人。

機能・特徴▶

- 麻痺のない健側の爪を、片手で押すだけの動作で簡単に綺麗に切ることができる。

使い方▶

- 切りたい指の爪を刃に合わせて、その指で基盤を強く押し下げるだけで、爪を切ることができる。



問合せ▶特定非営利活動法人 自助具の部屋

☎☎06-6777-6844(月・水・金 10:00~15:00)

NPO自助具の部屋ホームページ▶



## 健康生活 応援グッズ

安全・快適な移動を



小柄な方にも使いやすい  
超コンパクト・テイルト&  
リクライニング車いす

### ●マイチルト・ミニ3D

狭いスペースでも取り扱いやすく、「リフトアップ機能付き」は横への移動も可能です。身体状況にあわせた調整機能が充実、長時間座っていても安心です。

前後の転倒を  
新機能車いす  
予防する



### ●転ばないイス

体重がかかると、フットサポートが下降・着地し、前方への転倒リスクを軽減します。ブレーキをかけ忘れたまま立ち上がっても、自動的にブレーキがかかるので、後方への転倒も予防します。



使いやすいを追求した  
標準タイプの車いす

### ●モダン KMD-A22-40-M

外出が多い方にオススメ。背もたれの部分を折りたたんでコンパクトにできます。収納したり、車に積み込んだりするときに便利です。

問合せ

公益社団法人関西シルバーサービス協会 事務局

〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54

大阪社会福祉指導センター内

☎06-6762-7895 ☎06-6762-7894

http://kansil.jp



# ISS 一般社団法人 障がい福祉事業支援協会

## 障がい福祉事業支援協会は 支援するあなたを支援します

当協会は、地域の福祉を支援するための法人です。  
よりよい福祉を目指して次の支援をおこなっています。



- 指定申請・法人設立
- **報酬請求の代行**
- 報酬改正に対応した変更届
- 実地指導に対応した適正確認・運営支援
- 実地指導の準備支援や、実地指導当日の支援
- **福祉サービス第三者評価、スタート!**

お任せ  
ください

### 当協会は「福祉サービス第三者評価」をはじめます! (平成31年4月サービス開始)

指定基準の改定で『重要事項説明書』に「第三者評価の実施状況」を記載することになり、今、第三者評価に対する注目度が上がっています! 当協会では障がい福祉分野と児童福祉分野を評価いたします。

第三者評価は、サービス内容等を中立な機関が客観的な立場で評価するもので、多くの方にメリットがあります。

- 経 営 者 / 現状把握と改善点の明確化につながります。
- ス タ ッ フ / 課題を発見し、組織・個人の質の向上が望めます。
- 利 用 者 / サービスがよりよくなることを期待できます。

- 放課後等デイサービス
- 就労継続支援B型
- ショートステイ(短期入所)
- 就労継続支援A型
- 重度訪問介護
- 障がい者支援施設
- 児童発達支援
- 自立生活援助
- グループホーム(共同生活援助)
- 生活介護
- 就労移行支援
- 多機能型
- 同行援護
- 計画相談支援
- 自立訓練
- 重度包括
- 居宅介護
- 行動援護
- 地域相談支援
- 就労定着支援
- 障がい児入所施設

ISS 一般社団法人 障がい福祉事業支援協会

大阪市中央区谷町四丁目5-9谷町 アークビル1103号  
TEL 06-4794-0303 FAX 06-7632-3091 (平日9:30~18:00)

(広告)



そっと、さっと、あんしんを

サービス介助士

## 無料 説明会のお知らせ

おかげさまでサービス介助士16万人突破!



「おもてなしの心」と「介助技術」の普及を目指したこの資格は、多くの支持をいただき、2018年12月には資格取得者数が累計16万人を超え、広く全国で活躍されています。

| ●説明会開催日  | サービス介助士     | 防災介助士       | 認知症介助士 |
|----------|-------------|-------------|--------|
| 4月8日(月)  | 15:30~17:00 | 17:00~18:00 | 適宜     |
| 5月13日(月) | 18:00~19:30 | 17:00~18:00 | 適宜     |
| 6月10日(月) | 15:30~17:00 | 17:00~18:00 | 適宜     |

説明会では、サービス介助士について詳しく説明いたします。また、あわせて「防災介助士」「認知症介助士」についても説明いたしますので、個人はもちろん、サービス介助士導入をご検討中の企業・学校ご担当者様の参加もお待ちしております。



●説明会開催場所・お問い合わせ



公益財団法人

日本ケアフィット共育機構 大阪事務所

〒542-0083 大阪府大阪市中央区東心斎橋1-7-30  
TEL 06-6251-6101 FAX 06-6251-6102 URL <https://www.carefit.org/>

(広告)

## 第13期市民後見人養成講座 受講事前オリエンテーション

判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見制度」において、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう身近な立場で支援する「市民後見人」を養成するため、社会貢献への意欲と熱意のある市民の方を対象に「市民後見人養成講座」を行います。平成31年6月からの本講座の受講申込みにあたり、事業の趣旨をご理解いただくためオリエンテーションを開催します。

**対 象** / 大阪市内在住または在勤で社会貢献に意欲と熱意のある24歳以上68歳以下の方(平成31年3月31日現在)

※後見業務の養成研修を実施する団体に所属している方、または親族以外の方の後見人として活動している方は対象となりません

**日時・会場**

**第1回** 5月15日(水) 午後2時~4時

大阪市立住まい情報センター(北区)

**第2回** 5月16日(木) 午後6時30分~8時30分

大阪市立住まい情報センター(北区)

**第3回** 5月18日(土) 午後2時~4時

大阪市社会福祉研修・情報センター(西成区)

**内 容** / ①成年後見制度の概要と市民後見人の役割

②市民後見人養成講座の受講について

**定 員** / 各100名(先着順)定員を超えた場合のみご連絡します。参加費 / 無料

**申込方法** / 住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望日(第1・2・3回のいずれか)を記載のうえ、ハガキ・FAXまたはメール(yousei@shakyo-osaka.jp)でお申し込みください。

※締め切りは各日程の2日前。

**申込先** / 大阪市成年後見支援センター

〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

TEL 06-4392-8282 FAX 06-4392-8900



# CENTER INFORMATION

## 大阪市社会福祉研修・ 情報センターのご案内

開館時間／午前9時から午後9時まで(土・日曜日は午前9時から午後5時まで)  
図書・資料閲覧室は午前9時30分から午後5時まで(月～土曜日)  
休館日／国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

| 項 目          | 直通電話番号       | お問合せ時間                                                |
|--------------|--------------|-------------------------------------------------------|
| 会議室など利用の問合せ  | 06-4392-8200 | 午前9時～午後9時(土・日曜日は午後5時まで)<br>(会議室の申込・お支払いは午前9時30分～午後5時) |
| 研修関係の問合せ     | 06-4392-8201 | 午前9時～午後5時                                             |
| 図書・資料閲覧室の問合せ | 06-4392-8233 | 午前9時～午後5時                                             |

## 貸室ご利用の皆様へ

### 1 空室状況をホームページに掲載しています。

空室状況は、ホームページの「貸室のご案内」→「空室一覧」に、PDFで6か月分掲載。

ウェルおおさか

### 2 利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前(6か月前の同じ日)から、電話や窓口で予約いただいたうえ、所定の用紙で申し込みください。

受付時間は午前9時30分から午後5時まで

☎06-4392-8200

FAX 06-4392-8206

※FAXでの申し込み可能な期間は、利用日の6か月前の午前9時30分から利用日の3日前までです。



### ■会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。ご予約は利用日の6か月前からです。

| 室区分 | 利用人員のめやす | 時間区分 | 午 前        | 午 後         | 夜 間         | 昼 夜 間      |
|-----|----------|------|------------|-------------|-------------|------------|
|     |          |      | 9:30～12:30 | 13:00～17:00 | 18:00～21:00 | 9:30～21:00 |
| 4階  | 会議室      | 99   | 3,800      | 5,100       | 3,800       | 11,400     |
|     | 会議室 東    | 45   | 1,900      | 2,600       | 1,900       | 5,800      |
|     | 会議室 西    | 54   | 2,900      | 3,800       | 2,900       | 8,600      |
|     | 介護実習室    | 36   | 5,700      | 7,600       | 5,700       | 17,100     |
|     | 演習室      | 18   | 1,000      | 1,300       | 1,000       | 3,000      |
| 5階  | 大会議室     | 144  | 5,800      | 7,700       | 5,800       | 17,400     |

(単位:円)

交通／ご来所には【大阪シティバス】【JR】【地下鉄】をご利用ください

大阪シティバス  
「長橋二丁目」バス停すぐ  
52系統(なんば～あべの橋)

JR大阪環状線・大和路線  
「今宮」駅から徒歩約9分  
地下鉄・四つ橋線・御堂筋線  
「花園町」駅(①・②出口)から徒歩約15分  
「大国町」駅(⑤出口)から徒歩約15分

所在地／〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号  
設置主体／大阪市  
運営主体／(指定管理者)  
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会  
電 話／☎06-4392-8200(代表)  
ファックス／FAX 06-4392-8206  
U R L／http://www.wel-osaka.jp/

Facebookもチェック



「ウェルおおさか」に広告を掲載しませんか

詳しくはお問合せください…▶大阪市社会福祉研修・情報センター  
☎06-4392-8201 FAX 06-4392-8272 ✉kensyu@shakyo-osaka.jp

人権啓発キャッチコピー

【テーマ】外国籍住民をめぐる人権

異文化が 交り合うから 進化する

吉岡 敏郎さん(平成29年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 一般の部 優秀賞)